

## 九州大学のシンボルロゴ

九州大学のシンボルロゴとして5つのタイプの組み合わせを制作しました。5タイプのシンボルロゴは、それぞれ十分検討したうえでシンボルとロゴタイプを組み合わせています。ですから原則として、シンボルとロゴタイプはつねにこのどれかのタイプを使います。

また、シンボルロゴを使用する際、小さく用いると非常に見づらくなってしまうので小サイズ用のシンボルロゴも用意しました→P35

## シンボルとロゴの組み合わせ

天地方向

左右方向

ロゴタイプ

和文+英文



なし

和文



英文



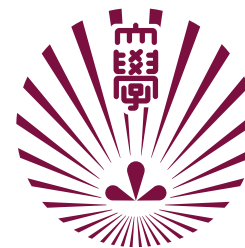
ここでは、5つのシンボルロゴについて詳しく紹介しません。これらのシンボルロゴは、それぞれフォーマルから、よりフレキシブルな使用に適したもので、さまざまな使用シーンを想定してデザインされています。各ページでは使用に適したシーンを説明するとともに、分かりやすくアイコンで示しました。

#### アイコン凡例



- ①フォーマル度の高さ
- ②使用する印刷物などの言語が和文か英文かの別
- ③紙面上の配置（中央または端）
- ④部局名などとの併記の可否

和英・天地タイプ



# 九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

5つのシンボルロゴのなかで、最もフォーマルなタイプ。和文、英文どちらの印刷物にも使用できます。このタイプは、左右センターの配置が適切ですので、部局などの名称とは離して使用します。

新しいシンボルロゴでは、以前のものよりロゴタイプを大きくし、文字を読みやすくするとともに、三角形のシルエットをつくり、どっしりとした安定感を与えました。

和文・天地タイプ



# 九州大学

左ページの和文、そして右ページの英文のシンボルロゴは、どちらもややフォーマルなタイプです。和文タイプは、和文の印刷物などに、右の英文タイプは英文のものに使用します。

英文・天地タイプ



# KYUSHU UNIVERSITY

どちらも左右センターの配置に適したデザインですので、部局などの名称とは切り離して、独立させて使用します。

和英併記のタイプ (P15) では、デザイン上、どうしても和文に比べて英文が小さくなってしまいます。見方によっては、和文にアルファベットのルビがついているようにも受け取られます。特に国際化を目指す九州大学には、和文のルビとしての英文ではなく、英文がメインの専用のロゴタイプが不可欠であると考えました。また、和文と英文を分けることによって、それぞれの文字が大きく、見やすく表示できるのもメリットです。

和文・左右タイプ



# 九州大学

さまざまなデザインの印刷物や部局などの名称と組み合わせやすいように考えられた汎用性を重視したタイプです。フォーマルというよりは、自由度の高いレイアウトの印刷物に向いています。和文の印刷物などに

英文・左右タイプ



# KYUSHU UNIVERSITY

は、左ページの和文ロゴタイプを、英文のものには、右ページの英文ロゴタイプを用います。

紙面の左右どちらかに寄せた配置に適したデザインとなっています。

部局などの名称と組み合わせる場合は、この左右タイプのシンボルロゴを使用します。→ P32

## 割り出し図

シンボルとロゴタイプのサイズや位置は、決まった比率にしたがってバランスよくデザインされています。考え方は、シンボルの直径の1/20を1ユニットとし、これを基本単位としてロゴタイプのサイズ、シンボルとロゴとの間の空間を算出しています。たとえば、下の天地タイプの場合、和文の最大文字幅は32ユニット。ちなみに、シンボルの20ユニットとの比率は5対8となり、ほぼ黄金分割(→P26 欄外)の割合に近い比率となります。

